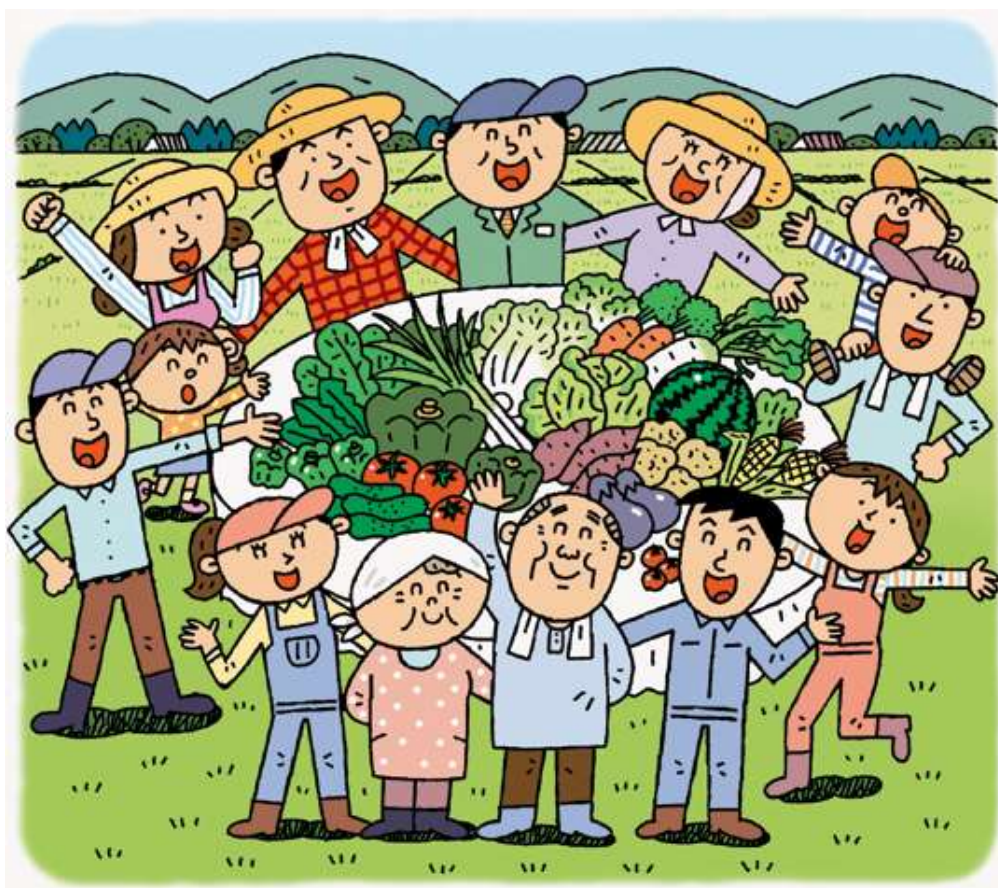




## 平成 26 年度総会資料



と き 平成 26 年 9 月 5 日(金)13 時

ところ 松阪農業公園ベルファーム  
レクチャールーム  
(松阪市伊勢寺町 551-3)

### 三重の畜産女性の会 サン・カラット

所在地 津市桜橋 1 丁目 649 番地 農業共済会館  
一般社団法人 三重県畜産協会内

## 平成 25 年度事業報告

畜産業界では、試練が続いています。

東日本大震災からの復興が大きな課題となっている一方で、畜産業界では高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等の疾病が発生しています。

平成 25 年 10 月には、国内で豚流行性下痢が発症し、その猛威は止まることなく、平成 26 年 3 月には残念ながら三重県にも大きな惨禍をもたらしました。

口蹄疫の発生については、その苦しさを経験談として聞いていたにも関わらず、目の前の見えないウイルスの恐怖を改めて知らされました。

農場現場での不安感もあります。加えて経済環境での不安もぬぐい捨てることができません。飼料原料の高騰は依然として高止まり状態、年末には卵価が上がったと報道されたものの 1 年間の平均でみれば決して好転したとは言えません。T P P 交渉の行方を心配しながら見守って、早くも 1 年の歳月が流れてしまい・・・というように、厳しい現実ばかりを突きつけられた 1 年でした。

そんな中で私たちは、畜種を越えて集い、お互いに励まし合い、学びながら活動を続けています。研修の場では、それぞれが活躍する姿や思いを聞かせてもらったり、そこから「元気」をもらったりできたと感じました。

### 1 総 会

とき：平成 25 年 6 月 7 日（金）

ところ：三重県教育文化会館（津市）

出席者数：総数 19 名（うち会員 14 名）

協議内容：平成 24 年度事業実績の報告、  
平成 25 年度事業計画の提案

代表世話人の小林さんから「サン・カラット発足以降、畜産業界では飼料高騰、家畜伝染病の発生、国際的な T P P 問題など多岐にわたる問題が発生し先行きに不安もあるが、今後も共に助け合い喜び合える仲間でありたい。」と挨拶がありました。

来賓として出席いただいた県畜産課の西口課長補佐からは、「積極的な姿勢で畜産に取り組む女性を応援したい。」と祝辞をいただきました。

総会の議事では、平成 24 年度の事業報告、平成 25 年度の事業計画について諮りました。



## 2 研修会・交流会等の開催・参加

### 1) サン・カラット研修会（総会と同日開催）

今回の研修会は、三重県養鶏協会と共催という形で開催させていただきました。講師にお招きしたのは、福岡県で養鶏業を営む畠中五恵子さん。当初、育すう業者であった会社が採卵部門を拡大し、インターネットで玉子販売も手がける先進的で積極的な経営方針について講演いただきました。

### 2) 漁協・酪農・畜産・JA女性部交流会に参加

とき：平成25年8月2日（金）

ところ：華王殿（松阪市）

出席者数：総数148名（うちサン・カラット会員14名）

#### 《事例発表》

第42回日本農業賞の大賞を受賞された四日市市の加藤美子さん（加藤牧場）から省力化・効率化を目指して取り組んできた肉用牛繁殖肥育一貫経営について事例発表がありました。

#### 《講演》

いなべ総合病院の水野院長から「更年期を迎えた女性が罹りやすい病気とその対応」と題し講演がありました。病気の中には骨粗鬆症など、男性より女性の方が罹りやすい病気があること、これらに対する留意点などをお聞きしました。

#### 《特産品抽選会》

これまでの即売会への感謝の気持ちと商品の宣伝の意味を込めて各団体自慢の特産品の抽選会がありました。サン・カラットからはポークジャーキーやウィナー、たまご商品を出品し、好評を得ました。



### 3) 第26回農山漁村のつどい

とき：平成26年2月4日（火）

ところ：三重県総合文化センター（津市）

開催テーマを「今こそ活かそう農山漁村に若い力を！」として、人のつながりを活かした若い担い手の育成や地域づくりの事例発表、人とのつながりをテーマとした映画「じんじん」の上映がありました。

事例発表では、津市の酪農家鈴木真子さんの他にイチゴ栽培や林業に携わる方からの発表がありました。

#### 4) J A 松阪女性部会との交流会

とき：平成 26 年 2 月 19 日（水）

ところ：J A 松阪西部営農振興センター研修室他（松阪市）

なばなの収穫体験を通して、両グループの役員さんを中心とした交流会を開催しました。畜産と異なり、季節によって生産するものが変わっていく耕種農家。規模や諸条件によっては機械化が難しく労力的にも負担が大きく後継者が育ちにくい実状を知りました。



#### 5) 料理を楽しんで、学ぶ教室 in 真夢農和

とき：平成 26 年 3 月 17 日（月）

ところ：真夢農和（松阪市）

例年の料理教室では、畜産物を素材にしたレシピで料理教室を開催していましたが、やや趣向を変え、地元の農産物を販売したり料理の材料に使ったりするレストラン「真夢農和」で食事を楽しみ、お店の活動や運営についてお話を聞きました。



### 3 会員間の情報交換、活動内容の広報等

#### 1) 会員誌の発行

##### ①サン・カラット通信第 20 号（平成 25 年 8 月発行）

- ・ 畠中さんを迎えて新年度スタート

総会・研修会の開催内容：いきいきネットの畠中さんによる講演

- ・ 漁協・酪農・畜産・J A 女性部交流会への参加
- ・ 開催のお知らせ「たまニコアゲイン 2013 in 三重」「ダイエット研修会」

##### ②サン・カラット通信第 21 号（平成 25 年 11 月発行）

- ・ 全国畜産縦断いきいきネットワーク大会に参加
- ・ 農山漁村のつどい開催のお知らせ
- ・ たまニコアゲイン 2013 in 三重
- ・ 養豚協会研修会「お肉でダイエット」の講演
- ・ 寄稿「笑顔が最高」前川会員からの子育てレポート

##### ③サン・カラット通信第 22 号（平成 26 年 3 月発行）

- ・ 第 26 回農山漁村のつどいに参加
- ・ なばな畑で収穫体験（J A 松阪との交流）
- ・ 料理を楽しんで学ぶ教室 in 真夢農和
- ・ お知らせ「全国畜産縦断いきいきネットワーク 10 周年記念大会」の開催について

## 2) ホームページからの情報発信

三重県畜産協会のホームページ「三重の畜産広場」内のサン・カラットのサイトでは、会の紹介、会員募集、活動状況等を広報しました。

サン・カラット URL <http://mie.lin.gr.jp/san/>



## 4 会の運営等の活動・その他

### 1) 世話人会の開催

とき：平成 25 年 5 月 14 日（火）

ところ：三重県教育文化会館（津市）

出席者：サン・カラット世話人 3 名、県畜産課 1 名、畜産協会 1 名

協議内容：平成 24 年度実績、平成 25 年度活動計画等

※この会議は、三重県畜産協会の畜産関係団体調整機能強化事業の一環として開催しました。

### 2) 全国畜産縦断いきいきネットワーク全国大会

とき：平成 25 年 8 月 27 日（火）

ところ：中野サンプラザ（東京都中野区）

今回の開催メインテーマは「国際化に向け、負けるな畜産！輝けウーマンパワー！」に、T P P 問題の情報を得たり、パネルディスカッションがありました。

恒例となった寸劇でも T P P 問題を課題にした熱演がありました。三重県からは松葉さん、竹内さんが出演しました。



### 3) 肉食ダイエット講演会

とき：平成 25 年 10 月 13 日（日）

ところ：三重県総合文化センター（津市）

この研修会は、三重県養豚協会主催のものでしたが、サン・カラットの皆さんにも聞いていただけるようご案内しました。

講演は沖縄県こくらクリニックの渡辺院長。

「沖縄発！肉食健康法の取組について」という演題で、肉・卵・チーズを積極的に摂取することで健康向上になるという内容でした。

## 5 平成 25 年度収支報告

### 三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 25 年度収支計算書

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

#### 1) 収入の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
会費	185,000	160,000	25,000	5,000 円×32 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	30,000	0	30,000	
雑収入	50	2,411	▲ 2,361	預金利息 51 円、旅費戻し 2,360 円
当期収入合計(A)	215,050	162,411	52,639	
前期繰越収支差額	230,512	230,512	0	
収入合計(B)	445,562	392,923	52,639	

#### 2) 支出の部

科 目	予算額①	決算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	200,500	86,350	114,150	表外※1 参照
会議費	600	0	600	
会場費	4,000	0	4,000	
旅費交通費	24,000	1,690	22,310	事務局延べ 3 回
通信運搬費	16,800	3,698	13,102	振込代 108 円、切手代 3,590 円
消耗品費	6,000	6,000	0	事務消耗品費 6,000 円
印刷製本費	11,000	9,000	2,000	コピー代金 1,800 枚
賃金	51,600	51,600	0	事務局 6 日分
事務諸経費	6,000	0	6,000	
雑費	5,000	3,832	1,168	電報
当期支出合計(C)	325,500	162,170	163,330	
当期収支差額 (A)-(C)	▲110,450	241	▲110,691	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	120,062	230,753	▲110,691	

※1 特別事業費 (86,350 円) の内訳

会議費 28,600 円 農山漁村のつどい 4,200 円、J A 松阪交流会 4,000 円  
料理を楽しむ会 20,400 円

通信運搬費 11,610 円 案内通知切手

謝礼 5,000 円 研修会お礼 (商品)

負担金 41,140 円 J A 女性部交流会 30,220 円、賞品代 4,920 円  
J A 松阪交流会 6,000 円

※参照：畜産協会事業「畜産関係団体調整機能強化事業」からの支援

世話人会開催費用 16,376 円 旅費、会場費等

研修会開催費用 81,343 円 旅費、会場費等

その他費用 67,636 円 通信運搬費、消耗品費等

三重の畜産女性の会サン・カラット規約第 14 条により上記のとおりご報告します。

## 平成 26 年度事業計画（案）

本年度は「消費税率の引き上げ」でスタートしました。

少子高齢化により、介護に必要な予算を平等に負担してもらうことが目的のひとつですが、畜産の現場では費用の負担増に直結してしまいます。

また、円安による飼料原料の高止まりや肉用牛肥育経営では、もと畜費も高騰しておりこれまでにない厳しさだと感じています。養豚農場にとっては、身近で発症した豚流行性下痢の恐ろしさもまだまだ生々しいものとなっています。畜産経営の周辺を見渡せば、このような環境になっていますが、グローバルな視野に立てば、T P P 交渉に係る問題や恒常的に発生している家畜疾病も気がかりな課題です。

ゆっくりと息をつける暇もないというのが実感でしょうか。

しかし、私たちは、いろいろな苦境にも負けることなく経営の維持発展に臨んできました。女性の視点で、経営に参加し家族と共に考え行動してきました。

そして、新たに手を携えることになったのが、三重の畜産女性の会サン・カラットの仲間でした。平成 18 年に産声を上げたこの会は、来年は 10 年目という大きな節目を迎えることになります。その節目に向けての本年度は地盤固めの重要な年になるだろうと思います。

これまで共に歩んできた過程を活かし、さらに魅力ある仲間であり続けるために励まし合い、喜び合える絆を育てていきたいと思えます。

### 1 研修、会員相互の交流等の活動

研修会と名の付く集まりに何か堅苦しいものを感じていませんか。自分が興味のあるテーマなら事前に勉強してでも意欲をもって出かけるでしょうが、そうでもない場合は、「欠席する」かもしれません。研修会のテーマ・内容は、参集された皆さんに同じレベルで受け入れられるものではないかもしれませんが、そこから何かに気付く、何かを考えるきっかけにしてみましよう。

#### 1) みえ・花しょうぶサミット<sup>※1</sup>

とき：平成 26 年 8 月 8 日（金）

ところ：J A 三重ビル（津市）

内容：活動発表（各団体<sup>※2</sup>の若手会員）とグループワーク（意見交換会）

※1 社会で活躍中の女性のネットワークを深め、さらに女性の社会進出の促進や女性の活躍、能力活用のために必要な支援の実施等、参加する団体の目標達成、三重県の産業振興につなげることを趣旨として開催するサミット。

※2 県漁業女性部連合会、県経営者協会女性懇話会、県商工会議所女性会連合会、県商工会女性部連合会、県中小企業レディース中央会、J A みえ女性連絡会議

## 2) 総会・研修会

とき：平成 26 年 9 月 5 日（金）

ところ：松阪農業公園ベルファーム（松阪市）

内容：①総会

平成 25 年度事業実績の報告、平成 26 年度事業計画の提案

②研修会

講師：堀内楓子さん（松阪市飯高町 叶林業合名会社）

内容：東京での学生・社会人生活を経て平成 24 年実家に戻り家業の林業に就く。  
現場作業と事務作業のどちらにも取り組んでいるお話をいただきます。

## 3) 農山漁村のつどい

とき：平成 27 年 2 月頃

## 4) 交流会（料理講習会）

内容：他の業界で活動する女性グループとの料理交流

## 5) 全国畜産縦断いきいきネットワーク大会

とき：平成 26 年 8 月 27 日（水）

ところ：日比谷コンベンションホール（東京都千代田区）

## 2 情報発信・情報交換による交流

サン・カラットの会員同士で時間と場所を共有することが、相互交流への近道ですが、それぞれの都合もあって一堂に会すことはなかなか難しいのが実情です。

このような状況を埋めるためにも会員へ情報を提供したり提供いただくことにより会員誌を作成しています。

また、サン・カラットの活動を広く知っていただくことにも力を注ぎたいものです。

### 1) 会員誌の発行

掲載内容は、会の活動状況が中心となりますが、日頃の会員の皆さんの日常のようすやお考えを伝える手段として、会員誌「サン・カラット通信」を発行します。

平成 25 年度も会員の皆さんからの寄稿をいただき、これまでに増して豊かな内容であったと思います。今後も会員の皆さんには、積極的なご参加（投稿等）によるご協力をお願いします。

### 2) ホームページによる情報発信

会員誌と重複する内容も多々ありますが、ホームページの特徴を活かして、会員以外への情報発信をします。

インターネットホームページ「三重の畜産広場」の一角で「サン・カラット」の情報発信を行います。



### 3) その他の情報提供

皆さんの周りで起きたニュースを会員の皆さんにお知らせしたいと思います。「活躍場面」や「うれしい出来事」あるいは他のグループの活動情報等を気軽に事務局へお寄せ下さい。

『テレビに出るよ』、『新聞に出たよ』、『地元ではこんなイベントが・・・』など、自由な表現で情報を提供して下さい。

いろいろな場面で仲間が活躍している姿をみることに、楽しいじゃありませんか。

### 3 畜産物の消費拡大へ向けての活動

TPPを知って、TPPを乗り越えて行こうというテーマで平成25年の全国畜産縦断いきいきネットワーク大会が開催されました。議論の先には食料自給率の向上という大きな目標・課題もありますが、生産現場と消費場面をつなげていく場に女性の力を欠くことはできません。

畜産や畜産物についてもう一度見直ししながら、正しい知識や正しい情報を消費者の皆さんに伝えていきましょう。

### 4 その他会の運営に必要な活動

サン・カラットの運営については、少しでも有意義な活動が展開できるように世話人会で検討協議していますが、ぜひ皆さんのご意見をお聞かせ下さい。

また、行動の範囲を広げるためにも、全国組織の「全国畜産縦断いきいきネットワーク」にも目を向けてみて下さい。全国から熱い想いを胸にした「同じ畜産仲間」が多数結集しています。全国大会の場を経験すればきっと貴女のモチベーションも上がると思います。

会員以外の方も全国大会へは自由に参加もできます。

この機会にもう一歩前に踏み出してみましよう。



## 5 平成 26 年度収支予算

### 三重の畜産女性の会サン・カラット 平成 26 年度収支予算（案）

（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

#### 1) 収入の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
会費	170,000	185,000	▲15,000	会費 5,000 円×34 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	30,000	30,000	0	参加費 1,000 円×20 人×1 回 材料費負担 500 円×20 人×1 回
雑収入	50	50	0	預金利息
当期収入合計(A)	200,050	215,050	▲15,000	
前期繰越収支差額	230,753	230,512	241	
収入合計(B)	430,803	445,562	▲14,759	

\*サン・カラット会員の年会費は 5,000 円とする。納入は 9 月末日までをお願いします。

振込先 銀行名 三重県信用農業協同組合連合会本店

口座名義 三重の畜産女性の会

口座種別 普通預金 口座番号 0003584

#### 2) 支出の部

科 目	予算額①	前年度 予算額②	差異①-②	備 考
特別事業費	154,000	200,500	▲46,500	表下※1 参照
会議費	600	600	0	100 円×6 人×1 回
会場費	4,000	4,000	0	世話人会
旅費交通費	10,000	24,000	▲14,000	事務局延べ 4 人、世話人 4 人
通信運搬費	15,540	16,800	▲1,260	会報等郵送料、振込手数料
消耗品費	6,000	6,000	0	500 円×12 ヶ月
印刷製本費	10,000	11,000	▲1,000	コピー利用料
賃金	51,600	51,600	0	8,600 円×6 日
事務諸経費	4,800	6,000	▲1,200	400 円×12 ヶ月
雑費	5,000	5,000	0	その他雑費 5,000 円
当期支出合計(C)	261,540	325,500	▲63,960	
当期収支差額 (A)-(C)	▲61,490	▲110,450	48,960	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	169,263	120,062	49,201	



#### ※1 参照（特別事業費）

会議費	56,000	2,000 円×20 人×1 回 800 円×15 人×1 回 100 円×40 人×1 回	印刷製本費	3,400	5 円×34 人×20 枚(コピー)
会場費	23,000	総会、研修会	通信運搬費	13,600	80 円×34 人×5 回(通知)
旅費	20,000	研修会講師	材料費	20,000	20,000 円×1 回(食材)
謝金	18,000	研修会講師			

## 三重の畜産女性の会

# サン・カラットへのお誘い

三重の畜産に携わる人、興味のある人、畜種を越えて集いましょう。

一人ひとり小さな力でも、

仲間がたくさん集まれば、それはひとつの大きな力になるでしょう。

なにか、新しい芽を皆で育ててみませんか。

- 1 会員相互の交流を深めましょう。情報の交換も積極的に！
- 2 経営向上のために研修の機会をもちましょう。
- 3 消費者の皆さんに畜産や畜産物についての理解を深めてもらいましょう。
- 4 将来の経営のためにいろいろな課題について語り合いましょう。
- 5 会員の意見による活動を進めましょう

・・・他にも取り組みたい活動イロイロ！  
皆でまず一歩！これがスタートです。



### 三重の畜産女性の会 サン・カラット

事務局 一般社団法人 三重県畜産協会

電話 059-213-7512

FAX 059-221-0109

E-Mail [info@mie.lin.gr.jp](mailto:info@mie.lin.gr.jp)

津市桜橋1丁目649番地 農業共済会館